

町史だより

〜西原の芸能〜

みなさんは、それぞれの字の行事に参加したことはありませんか。一年を通して各字で様々な行事が行われますが、中でも、綱曳きや村芝居の際は、字外の人も集まり、とても賑やかになります。

各字の組踊りや獅子舞、棒術、エイサーなどの伝統芸能には、それぞれの型が作られ、現在まで保存・継承されています。しかし、後継者が少なく、どの字でも、保存・継承・後継者問題は、深刻であります。一方、字によっては、途切れたり、衰退したりした伝統芸能を復活させたり、新しく創作したりする字もあります。

これらの伝統芸能は、各字の行事以外では、なかなか披露する機会がありませんが、昨年、九州地区民俗芸能祭に小波津の獅子舞と棒術が県代表として参加し、西原まつりでは、各字の獅子舞、エイサー、旗頭が披露されました。

さらに、沖縄コンベンションセンターで第一回全島旗頭フェスティバルが開催されましたが、各



桃原の獅子

地域の趣向を凝らした旗頭が、一斉に乱舞するガ―イー（旗頭の競演。誇示すること。）は、見とれてしまうほど勇壮でした。西原町からも小那覇、嘉手苅、坂田の旗頭と我謝、桃原の獅子舞が参加し、西原町の芸能をピーアールすることができました。町史編集係では、今後とも、伝統行事・民俗芸能等を記録していきたいと考えていますので、各字のみなさん、ご協力よろしく願います。



今年11月に行なわれた第13回西原まつりでの旗頭の共演